

地域再生計画 「伊賀コリドールの整備による、伊賀の魅力倍増計画」の目標および成果

伊賀地域には、旧青山町の博要(はくよう)地区をはじめ、従前から地域の活性化のための活動を行っていた地域や団体があり、今も活発に活動しています。博要地区は、伊賀市中心部から南へ約15キロに位置した、種生(たなお)区と老川(おいかわ)区からなる中山間地域で、種生区では、平成6年に地域住民自ら「種生区活性化計画」を策定し、地域住民が主体となって「美しい自然環境をまもり、快適で安心して暮らせる、活気に満ちた地域づくり」に取り組んできています。

- 具体的には、「農業基盤の整備」「生活基盤の整備」「道路の整備」「雇用機会の創出」「伝統行事・芸能などの活性化」の5つの戦略を策定し、これに基づき、「ほ場整備や簡易水道の整備」、「廃校を保存活用した「博要の丘」の整備」、「交流施設(ハーモニーフォレスト)の整備」、「ほたる水路の整備や保全活動に取り組み」、「ほたる祭りの開催」などの活動により、都市住民が博要地区の自然にふれる機会を創出するための活動にも取り組んでいます
- こうした活動は、老川区も含んだ博要地区の活動となって広がり、地域活動の中心となるNPO法人「博要の丘」が設立され、現在も、地域の活性化を目的とした活動をしています。これらの活動の拠点となる施設や、「伝統や歴史」、「豊かな自然」、「観光・交流施設」などの「お宝」が、伊賀地域には点在しています。
- これらの「お宝」を、広域農道「伊賀コリドール」を中心とした道路ネットワークでつなぎ、地域資源として有効活用するため、道整備交付金(内閣府)を活用し、平成18年度から平成23年度において道路を整備しました。

- (目標1) 伊賀コリドールの整備によるアクセス時間の短縮
(さるびの温泉から博要地区までのアクセス時間の短縮12分)
(青山地区から上野中心市街地までのアクセス時間の短縮10分)
- (目標2) 都市との交流人口の増加
(ハーモニーフォレスト年間利用者数 34,300人)
(ゆめドーム年間利用者数 76,500人)
- (目標3) 自然環境の保全(ほたる祭りに訪れる人数 300人)

